

ピンチはチャンス!! コロナ禍の学校 ～ 「リモート授業」で見えてきた光 ～

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る国の緊急事態宣言、県の非常事態宣言が発令・延長され1か月あまりが過ぎました。中止・延期される各種行事や研修会がある一方で、オンラインで実施可能な取組も増えてきました。各学校では、臨時休業日を設定しながら、一人一台端末を活用したリモート授業を実施していただいております。家庭環境等の状況により、リモート授業を実施していない子供たちもおりますが、多くの子供たちは1日に数時間程度の授業をリモートで受け、担任の先生やクラスの友たちと毎日つながっているようです。リモート授業を実施するための学習計画や準備が大変な中、児童生徒の学びの保障と心の育成に全力で取り組んでいただいている各学校に、改めて感謝とお礼を申し上げます。

問題や課題も多いリモート授業ですが、学校訪問等を通して見えてきた各学校の工夫ある取組や先生方の発見の声を紹介いたします。

1. リモート授業を効果的に進めるための工夫とアイデア

- 教師用端末を書画カメラ（実物投影機）として安定した状態で使えるよう、教卓と端末機の間にはブックスタンド等を挟んで使った。（手持ちから解放され、大きくブレのない画像を子供たちに提示できた。専用スタンドを用意した学校もありました。）
- 約束事を決めてリモート授業を実施している。（背景画像の設定解除〔※回線への負荷軽減〕、挙手アイコンの利用、発話時のみのマイク使用、他）
- 教室での授業に近づけるため、黒板やホワイトボードに学習内容を板書し児童生徒に見せている。
- 子供たちに〇×カード等を使わせて、発問への反応を見たり、意思決定の状況を確認したりした。（※全員がマイクで話すと聞き取れなくなるため）
- 画面共有機能や電子ホワイトボード機能（ジャムボード等）を活用して学習効果を高めた。



2. リモート授業だからこそ、できたこと

- 欠席の多かった子供とつながった。
- クラス全員が互いの顔（表情）を見ながら学習できた。（道徳や特別活動などで効果的）
- 子供たちは、自宅からのアクセスのためマスクを外して授業に参加できた。（音楽の歌唱やリコーダー演奏、外国語活動で効果的）
- 在宅勤務で、教員が自宅から授業を実施したり職員会議に参加したりすることができた。
- チャット機能を活用して、全員の発言（考え・つぶやき）を拾えた。
- お家の人にも、授業やクラスの様子を見てもらうことができた。保護者が授業に参加してくれた家もあった。
- 大人数での授業ができた。（全校体育 ダンス教室等）

3. その他

- 若手教員とベテラン教員との間でICT研修（OJT）が活性化した。ICTがあまり得意でなかった教員の情報活用能力が向上した。

コロナ感染拡大の状況により、今後も臨時休業や分散登校等のご対応をお願いすることが考えられます。リモート形式での授業実施には、まだまだ多くの課題があり障壁となるいくつかの問題があることも報告されておりますが、児童生徒の健康安全の確保と学びの継続を両立させるため、さまざまな工夫・改善により、非常時等でのリモート授業が全ての子供たちに実現できるよう、みなさんで知恵を出し合い、コロナ禍を乗り越えましょう。

